

番号	交付金事業名		
1	広報・調査等事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	岡山県、鏡野町		
交付金事業実施場所	岡山県内		
交付金事業の概要	調査事業 他県原子力施設調査、行政視察研修 広報事業 施設見学バス事業、パンフレット作成、展示物更新・修繕 連絡調整 国等との連絡調整 その他 広報展示施設の管理・運営		
総事業費	17,077,260 円	交付金充当額	16,947,660 円
		うち文部科学省分	16,947,660 円
		うち経済産業省分	0 円
交付金事業の成果目標	発電用施設に対する正しい知識の習得のための広報・調査等事業を実施し、発電用施設の設置及び運転の円滑化について地域住民の理解の促進を図る。		
交付金事業の成果指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設見学バス事業においてアンケートを実施し、受講者の講義内容の理解度を70%以上とする。</li> <li>・アトムサイエンス館の来館者数を4,500人以上とする。</li> <li>・アトムサイエンス館の来館者へアンケートを実施し、回答者への理解度を70%以上とする。</li> </ul>		
交付金事業の成果及び評価	<p>県では、パンフレットの作成（2,000部）等により、多くの県民に対して原子力・放射線に関する基礎知識の普及啓発の取組を実施することができた。</p> <p>また、一般県民を対象とした借り上げバスによる施設見学を行い、アンケートを実施したところ、参加者のほとんど全員（61/62名）が原子力や放射線等について学べたと回答しており、取組が有効であることを確認できた。</p> <p>町においては、広報展示館の維持管理及び補修を適切に行い、放射線の基礎知識の普及啓発を図ったところ、入館者数が4,389人（前年度4,711人）であった。前年度と比較して322人の減少であり、月別では4月及び5月の来館者数の減少幅が大きい。その原因としては、全国的な新型コロナウイルス感染症拡大から令和2年4月17日～5月10日の期間を臨時休館としたことが挙げられる。一方で、コロナ禍の中でも、8～10月の入館者数は2,169人（前年度1,531人）と過去5年間で最多となり、継続した一定の広報効果は認められた。引き続き、県内幅広く、施設・団体等へ広報事業及び広報展示館について周知を図り、来年度以降も来館者数の維持を目指す。</p> <p>また、来館者に対しアトムサイエンス館での広報内容に係るアンケートを実施したところ、理解できたと答えた人の割合は93%（回答数：85名）であり、知識の普及効果が認められた。</p>		

交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	バス借上料（岡山県）	随意契約（見積合せ）	両備ホールディングス(株)	401,500 円
	パンフレット印刷（岡山県）	随意契約（見積合せ）	(株)岡輝印刷	182,600 円
	展示物修繕料（岡山県）	随意契約（見積合せ）	ノムラテクノ(株)大阪支店	1,347,500 円
	展示物更新料（岡山県）	随意契約（公募型プロポーザル形式）	ノムラテクノ(株)大阪支店	6,798,000 円
	アトムサイエンス館施設維持管理委託（鏡野町）	随意契約（特命）	人形峠原子力産業(株)	4,303,200 円
	その他			4,044,460 円
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
無				